

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科・医療秘書専攻		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	美容秘書概論 I		必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	15	(1) 時間(単位)	
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	メイク室		
担 当 教 員	藤井 由美子	実務経験と その関連資格						
《授業科目における学習内容》								
化粧品・美容の基礎知識を体系的に理解する 皮膚科学・成分・法律の基礎を説明できる								
《成績評価の方法と基準》								
実技テスト、授業にとりくむ姿勢								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
配布資料を参考資料とする8								
《授業外における学習方法》								
予習・復習を行うこと								
《履修に当たっての留意点》								
模擬問題で化粧品検定準2合格ライン(正答率70%以上)を安定して取れるよう主体的に学ぶこと								
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮膚の構造と役割について概要が理解できる。	配布資料	予習復習を行うこと			
		各コマにおける授業予定	試験概要・出題傾向の説明・皮膚の三層構造(表皮・真皮・皮下組織)・角層の役割・ターンオーバーの仕組み・水分保持のメカニズム					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	肌質とトラブルについて概要が理解できる。	配布資料	予習復習を行うこと			
		各コマにおける授業予定	普通肌・乾燥肌・脂性肌・混合肌/敏感肌の特徴/ニキビの種類と原因/シミ・しわ・たるみの基礎/紫外線の基礎知識(UVA/UVB)					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎化粧品の種類と役割について概要が理解できる。	配布資料	予習復習を行うこと			
		各コマにおける授業予定	クレンジング・洗顔料の違い/化粧水・乳液・クリーム/美容液の位置づけ/保湿成分(ヒアルロン酸、セラミドなど)/界面活性剤の基本					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	メイクアップ化粧品・毛髪・ボディケアについて概要が理解できる。	配布資料	予習復習を行うこと			
		各コマにおける授業予定	ファンデーションの種類/ポイントメイク製品/毛髪の構造/シャンプー・トリートメントの基礎/ボディケア・ハンドケア					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	成分の基礎理解	配布資料	予習復習を行うこと			
		各コマにおける授業予定	保湿成分/美白有効成分/抗炎症成分/ビタミン類/エタノール・防腐剤の役割					

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 紫外線・光老化・生活習慣について概要が理解できる。	配布資料	予習復習を行うこと
	各コマにおける授業予定	紫外線対策(SPF・PA)/光老化の仕組み/ブルーライト/生活習慣と肌(睡眠・栄養)/抗酸化の考え方		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 化粧品の法律・安全性・表示について概要が理解できる。	配布資料	予習復習を行うこと
	各コマにおける授業予定	薬機法の基礎/化粧品と医薬部外品の違い/全成分表示/パッチテスト/アレルギー・安全性試験		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 総復習＋模擬試験	配布資料	予習復習を行うこと
	各コマにおける授業予定	まとめ試験		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			